

浜田中央公園の活用について

資料 3

《考え方》

- 大雨時に下水に流れ込む雨水を貯留するため（浜田地区の浸水対策のため）、浜田中央公園が有する調整池機能について、途切れることなく確保することが前提
- 調整池の規模及び排水を考慮すると、現在の浜田中央公園に隣接した、まとまった敷地が必要であり、サンドーム・県営スケート場敷地に整備せざるを得ない
- 現サンドーム解体後（新サンドームの整備後に解体）、調整池機能を有した公園を整備した上で、浜田中央公園に病院を整備

《整備スケジュール》



浜田中央公園の活用について

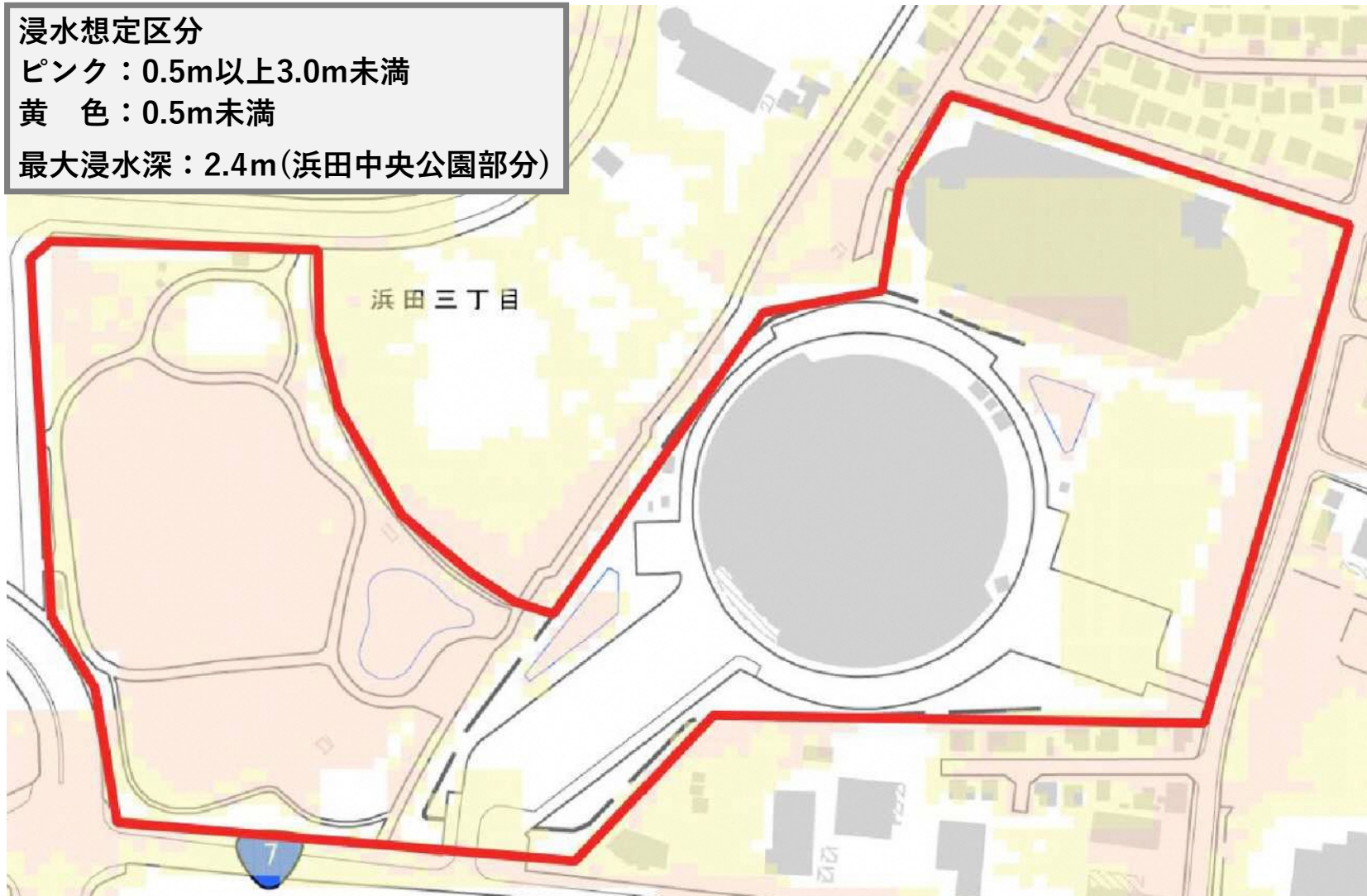
【参考】洪水浸水想定区域

浸水想定区分

ピンク：0.5m以上3.0m未満

黄色：0.5m未満

最大浸水深：2.4m(浜田中央公園部分)



浜田中央公園の活用について

《統合新病院について》

- 統合新病院については、**両病院の老朽化や医療従事者不足、全国各地で災害が頻発している現状を踏まえ、1日も早い開院が必要**である。

《浜田中央公園の活用に係る再検討》

- 浜田中央公園に病院棟を整備することにより、**近隣住民の一部の方については、騒音などの生活環境の変化が緩和される可能性**がある。
- 日影規制や敷地形状により、病院棟などの建物について、現計画と比較して**非効率な配置及び複雑な形状となる可能性が高く、患者や医療スタッフの効率的な動線の確保が難しくなる。**
- 調整池機能を確保した上で、病院整備する必要があり、**開院時期が少なくとも4年程度遅れる見込み。**
 - ・ 統合を契機とした医療機能・サービスの更なる充実、医師や看護師等の医療従事者の集約化、人材確保・育成、地域の医療機関等への支援の強化等の**統合効果の発現が遅れる。**
 - ・ **現病院の老朽化が進行**(耐用年数39年を大幅に超過(10～15年))する。
⇒ **青森地域保健医療圏だけでなく、県全体の医療提供に影響を及ぼす。**
 - ・ 公園整備や浸水対策のほか、開院時期が遅れることによる現病院の設備更新などにより**追加経費が発生し、県民・市民の負担が増加する。**

《検討の結果と今後の対応》

- 上記の影響を考慮すると、**浜田中央公園への病院棟整備は難しいことから、基本計画における現在の敷地利用計画に基づき整備を進めること**としたい。
- **生活環境の変化については、できる限り地域住民の皆様に影響がないように対策を検討し、引き続き節目節目において丁寧に説明していく。**